

2022年5月 JICA 月次レポート

## 生理で学校に行けなくなる女子学生の教育環境改善事業

### <活動状況>

1. 教員用の月経時の衛生管理トレーニングマニュアルの仕上げ
2. Happy-Pad プロモーションセンターの改修作業及び月経時の衛生管理トレーニングの実施
3. Happy-Pad の取扱説明書（チラシ）作成
4. 月経時の衛生管理・ナプキン作成に関するオンラインデモンストレーションの実施
5. 教員を対象とした月経時の衛生管理トレーニングのオンラインデモンストレーションの実施
6. 協力団体 VOTU による啓発動画の共有
7. 対象校における衛生施設の修繕の進捗管理

#### 1. 教員用の月経時の衛生管理トレーニングマニュアルの仕上げ

教員用トレーニングマニュアルの完成に向けた編集作業を行った。編集においては様々な文献を参考にし、また GBN との会議も交え作業を進めた。完成した後に教員トレーニングのオンラインデモンストレーションでも使用した。当マニュアルには月経の対処方法、ジェンダー問題、性と生殖に関する健康において教員が生徒や学習者を研修する際の手引き、ワークショップの事例等が記されている。

#### 2. Happy-Pad プロモーションセンターの改修作業及び月経時の衛生管理トレーニングの実施

Katalemwa secondary School に位置する Happy-Pad プロモーションセンターは利用の準備が整い、また外壁の塗装も完了した。看板として用いるラベルも作成し外壁に掲げる予定である。以下の画像が看板の最終草案である。



施設の運営、布ナプキン生産の研修の技術担当（トレーナー）として Nabirye Restetuta 氏を任命した。ナプキン生産は Katalemwa Secondary School の学生 92 名（男子 33 名、女子 59 名）が月曜～金曜に行っており、現時点では研修料は取っていない。生徒はナプキン作りの過程をよく理解し、型にあわせた布の裁断ができるようになり、更にミシンの使い方にも慣れナプキンを縫えるようにもなった。学生たちはナプキン作りの方法を学ぶことに意欲的であり、学校外の人々が学びに来るよう奨励することに対しても前向きであった。



Happy-Pad プロモーションセンターの外観



看板を掲げる予定の外壁

### 3. Happy-Pad の取扱説明書（チラシ）作成

Happy-Pad の取扱説明書としてのチラシを作成した。チラシは利用者  
に使い方を説明するもので、布ナプキンのパッケージ内に封入する。また、  
教員のトレーニングマニュアルにおいても同内容を含める予定である。



### 4. 月経時の衛生管理及びナプキン作成に関するオンラインデモンストレーションの実施

5月13日に Google Meet を利用し、上述の布ナプキン作りのトレーナーと共にオンラインデモンストレーションを実施した。Katalemwa secondary school の生徒や SORAK スタッフが現場で参加し、GBN や VOTU のスタッフ、他のプロジェクト関係者がオンライン参加した。以下がデモンストレーションの主な内容である。

- 生理用布ナプキンの作り方の紹介
- 使い捨てでなく再利用可能なナプキンを使うことの利点
- 布ナプキンの取り扱い方法

終了後に GBN、VOTU から今後のオンライントレーニングに向けて実施方法を改善すべきだという意見が出た。以下はデモンストレーションの様子を撮影したものである



学生がナプキンを下着に装着する方法を説明している。



男子生徒がナプキンの型をとっている。



SORAK 代表がナプキンの型紙を出席者に見せ、使用する素材の特性について説明している。

ナプキン作成後、学生たちが完成品の出来具合を確かめている。

### 5. 教員を対象とした月経時の衛生管理トレーニングのオンラインデモンストレーションの実施

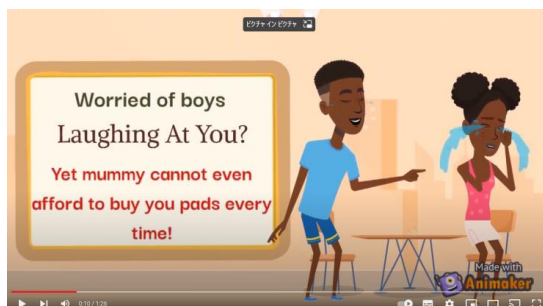
5月27日、教員を対象とした月経時の衛生管理トレーニングのオンラインデモンストレーションを Zoomで行った。SORAK チームは以前作成したブックレットの内容を共有しながらデモンストレーションを進めた。終了後には GBN を含む参加者から以下の意見、改善点が挙げられた。

- 時間管理を徹底すべきである。
- 可能な限り写真や動画などの実例やイラストを使用すべきである。
- 教員がマニュアルとブックレットの両方を用いて指導を行えるようにトレーニングしておく必要がある。
- トレーニングの際は女性教員だけでなく男性教員も含めて参加者全員が確実に目的を理解しておくべきである。

### 6. 協力団体 VOTU による啓発動画の共有

ブタンバラ県の協力団体 VOTU は月経時の衛生管理に関するメッセージを描いたアニメーションを制作した。動画の音声はラジオ番組の「Voice of Kikambwe」、「Voice of Butende」に提出され、5月中旬にスポットメッセージ（コマーシャル）として21回放送された。スポットメッセージ（コマーシャル）は以下のリンクから閲覧が可能である。プロジェクトメンバーはこのアニメーションを活用することが推奨された。

<https://youtu.be/whvtHmCh-Xg>



### 7. 対象校における衛生施設の修繕の進捗管理

各県のプロジェクトチームは衛生施設の修繕の進捗状況を把握するために各校を訪問した。ほぼ全ての学校の修繕が無事完了していることがわかった。





ムベンデ県では9校がトイレや洗面所の設備の修繕作業を完了しており、女子生徒が月経期間に安心

して利用できる場所として機能するようになった。Christ the King 小学校は引き続き地域住民からの寄付を募っている状況にある。

<p><b>Kabowa 小学校</b></p>	<p><b>Christ the King 小学校</b></p>
 <p>更衣室が付いた洗面所。壁の塗装に向け保護者から寄付を募る予定である。</p>	 <p>トイレ用に掘った穴。現在はトイレ建設用の資金を募っている。</p>
<p><b>CAWODISA 小学校</b></p>	<p><b>Kasana 小学校</b></p>
 <p>シャッターを備え付け塗装も施した洗面所。</p>	 <p>セメント、カラー塗装を施し使用可能な洗面所。</p>
<p><b>Gwanika 小学校</b></p>	<p><b>Kiyiita 小学校</b></p>
 <p>洗浄用具が備え付けた新しい洗面所兼更衣室</p>	 <p>女子生徒が更衣室として利用できるような同様の施設を建設し塗装した。</p>
<p><b>Kasasa 小学校</b></p>	<p><b>Dyangoma 小学校</b></p>
 <p>新設され既に使用されている更衣室</p>	 <p>雨水をタンクに運ぶ樋を設置し、女子生徒が洗浄の際に水を使用できるようになった。</p>

Ikula 小学校	Katega 小学校
	
ドアと鍵を設置した洗面所兼更衣室	新たに新設された洗面所兼更衣室









ブタンバラ県の学校は以下のような状況であった。

Kitagobwa 小学校	Kayenje 小学校
	
ドアと壁を取り付けた。	施錠できるドアを取り付けた。
Ntolomwe 小学校	Nkokoma 小学校
	
施錠できるドアを取り付け増設した洗面所。水やたらいを備え付け、内部も完成している。	洗面所兼更衣室
Butende 小学校	Bule UMEA 小学校
	
新たに建設した更衣室。鍵付きのドアを取り付け壁や床も塗装した。	鍵付きのドアを取り付け、タイルを敷き、衛生状態が保たれた洗面所

<p><b>Kiwala 小学校</b></p>	<p><b>Lwamasaka 小学校</b></p>
 <p>増設した更衣室。鍵付きのドアを取り付け壁や床も塗装した。</p>	 <p>ドアと床が改善された洗面所</p>
<p><b>Nawango 小学校</b></p>	<p><b>Butalunga 小学校</b></p>
 <p>鍵付きのドアを取り付け、壁を修繕した。</p>	 <p>カーテンウォールを建設した洗面所</p>

ワキソ県では Ssayi Bright 小学校を除く 9 校で修繕工事が完了した。Ssayi Bright 小学校は Kigoogwa Muslim 小学校の代わりとして市の教育長が新たに推薦した学校であり、対象校として選出されたことを歓迎した。同校では女子洗面所にドアを取り付ける予定である。

<p><b>Kirolo UMEA 小学校</b></p>	<p><b>Lwadda Church of Uganda 小学校</b></p>
 <p>洗面所にドアを取り付け女子生徒が安心して使用できるようになった。</p>	 <p>トイレの天井の鉄製シートを交換した。</p>

<p><b>Maganjo UMEA 小学校</b></p>	<p><b>Kanyange Mixed 小学校</b></p>
 <p>洗面所にドアを取り付け、壁を修繕した。</p>	 <p>集水用の樋を取り付け、雨が降った際に雨水が流れるようになった。</p>
<p><b>Kitanda Church of Uganda 小学校</b></p>	<p><b>Buwambo Church of Uganda 小学校</b></p>
 <p>女子トイレにドアを3枚取り付けた。</p>	 <p>集水樋を交換し、浸透ますを修繕した。</p>
<p><b>Sanga Church of Uganda 小学校</b></p>	<p><b>Kitungwa 小学校</b></p>
 <p>集水樋とパイプを取り付け、タンクまで水が流れるようになった。</p>	 <p>洗面所のドアを交換し床を修繕、新しい屋根を設置した。</p>
<p><b>Jinja Karoli 小学校</b></p>	<p><b>Ssayi Bright 小学校</b></p>
 <p>女子寮の集水樋が非常に古かったため新しいものに交換した。</p>	 <p>女子用洗面所にドアを取り付ける予定である。</p>

### <事業による効果的な影響およびもたらした変化>

- 今回実施したデモンストレーションは多くの学生にとって初めて布生理用ナプキンについて知る機会となった。また、使い捨てでなく再利用可能なナプキンを利用する利点について学び、それを活用することに興味を示した。
- オンラインデモンストレーションを行ったチームは効果的なトレーニングの実施において何が不足しているのかを特定し、今後のトレーニングに反映できるようにした。

### <直面した問題>

- オンラインデモンストレーションの際にインターネットの電波が弱く、接続が不安定になってしまったこと
- 電力不足のため、電気を使う手段を活用したトレーニングが実施できないこと。
- 市の教育長からワキソ県で新規で追加となった学校に関する情報が来るのが遅れ、結果として修繕作業にも遅れが生じてしまったこと。

### <教訓>

- 実践的なデモンストレーションはメッセージを明確に伝えるためにも必須である。
- インターネットや電気が不安定になった場合を想定し、別の方法でもトレーニングを続行できるよう事前に備えておくことが重要である。
- 予算内で実施できる以上の修繕を行った学校があり、地域住民からの寄付が間に合わず工事が滞っている。

### <関係者のコメント>



「このような機会を頂けてとても光栄です。学校で生理が始まってしまい緊急用のナプキンがない場合、女子生徒は靴下を代用しその場をやりしのごことが多くあります。」

Ssaayi Bright 小学校 女性教員



「再利用可能な生理用ナプキン作りに携わる機会を頂けて嬉しく思います。私は学習障害があり学校を退学してしまった女の子 Jazirah を楽しくトレーニングしています。彼女は学校の一般カリキュラムについていくことはできませんでしたが、ナプキン作りには問題なく取り組んでいます。」

ナプキン生産ボランティア員 Catherine